

# CiNii Researchで 国内論文を検索！



神戸大学附属図書館  
情報リテラシー係

国内論文を探すための代表的データベース、CiNii Researchの使い方について、ご説明します。

## CiNii Researchとは・ ・

雑誌論文や本、博士論文、研究プロジェクトなどを検索できる文献検索ツールです。一般公開されており、利用登録なしで誰でも無料で利用できます。

一部の論文情報には、抄録や参考文献リスト、本文提供サイトへのリンクなどが付与されています。



CiNii Researchは国立情報学研究所という国の機関が作成しているデータベースで、雑誌論文だけでなく、本や博士論文、研究プロジェクトなども検索できるデータベースです。どこからでも無料で検索できます。一部の論文情報には、抄録や参考文献リスト、本文提供サイトへのリンクなどが付与されています。

# 1. アクセス方法

CiNii Research（サイニィリサーチ）へは、図書館Webサイト上の「データベース一覧」からアクセスできます。

資料を探す

神戸大学の所蔵資料を検索

検索

詳細検索

KULIP

データベース一覧

データベース一覧 / List of Databases

A. AAS Historical Periodicals Collection

A. Academic OneFile

A. AGRICOLA (NAL Catalog)

A. AgrKnowledge

A. AGRIS

A. AGROPERIA

A. arXiv.org

B. BioMed Central (BMC)

B. Business Source Premier

B. バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC)

C. Cairn.info

C. Cambridge Core

C. CINAHL

C. CiNii Articles

C. CiNii Books

C. CiNii Dissertations

C. CiNii Research

D. DAI-LIST (第一法規 法情報研究会データベース)

E. e-Stat (政府統計の総合窓口)

全て / All

二巻 / 二巻

A+B+C+D+E+F+G+H+I+J

K+L+M+N+O+P+Q+R+S

T+U+V+W+X+Y+Z

内容別リスト / By Contents

辞書・参考 / Reference Info

図書 / Books

論文 / Treatises

新聞記事 / Newspapers

法令・判例 / Laws, precedents

統計 / Statistics

特許・知財 / Patents, intellectual properties

企業情報 / Company information

国際関係 / International relations

デジタルアーカイブ / Digital materials, digital archives

文庫管理 / Reference management tools

新着図書に通知する

分類別リスト / By Subject

C. CiNii Research

Information

データベース名 / Database

CiNii Research

提供機関 / Vendor

国立情報学研究所 (NII)

利用条件 / Use condition

一般公開

言語 / Language

日本語

フルテキスト / Full-text

一部本文提供サイトへリンクあり

概要 / Description

国内の大学図書館が所蔵する本や雑誌の他、学術論文・博士論文、さらに研究データ・プロジェクト情報などを横断検索することができます。

User's Guides

マニュアル

NII 学術コンテンツサービス サポート

各データベースの詳細画面では、データベースの概要や利用条件、マニュアル等も確認できます。



CiNii Researchへは、神戸大学附属図書館ウェブサイトのトップページにある「データベース一覧」のリンクからアクセスできます。

一覧から“CiNii Research”を選択し、詳細ページを表示して下さい。  
詳細ページにはデータベースの概要や利用条件などが記載されています。  
データベース名のハイパーリンクをクリックすると、データベースへアクセスできます。

## 2. 論文検索画面

論文検索をするには、タブで「論文」を選択します。  
検索は、フリーワード検索（簡易検索）と項目を指定した検索（詳細検索）が行えます。

### 簡易検索

検索窓に入力した文字列が、論文の情報（タイトル・著者名・抄録など）のいずれかに合致する論文を幅広く検索します。

### 詳細検索

検索フィールドや出版年などを指定することで、より限定した条件から論文を検索できます。  
フリーワード検索と組み合わせた検索も行えます。

The image shows two screenshots of the CiNii Research website. The top screenshot is the main search page with a '論文' (Thesis) tab highlighted in a red box. A blue arrow points from this tab to the bottom screenshot, which is the detailed search page. In the detailed search page, the '本文リンクあり' (Full-text link available) checkbox is highlighted in a red box. The detailed search page includes various input fields for title, author, ISSN, DOI, and publication year, as well as checkboxes for various databases and full-text availability.

CiNii Researchで論文を検索するには、タブで論文を選択します。  
検索画面は、論文情報全体をフリーワードで検索する簡易検索と、検索項目を指定した検索ができる詳細検索の2つあります。

検索ボタンしたの「詳細検索」の矢印をクリックすると、詳細検索画面が表示されます。

詳細検索では、論文タイトル、著者名、出版年など検索対象項目を限定できるので、

細かく条件設定したい時は、詳細検索画面を使うと便利です。

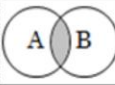

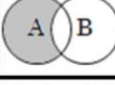
また、「本文リンクあり」にチェックを入れると、本文提供サイトへのリンクが貼られている論文のみを検索することもできます。

### 3. 検索テクニック

#### ● 検索ルール

部分一致検索	入力した文字列と一部分が合致していれば検索される	例)「京都」で検索 ⇒「京都」「東京都」がヒット
文字の区別	ひらがなとカタカナは区別されない	例)「たんぱく質」と「タンパク質」は検索結果が同じ

#### ● 論理演算 (OR/NOTは大文字入力)

AND検索		AとBの両方を含む論文を検索	スペース もしくは" & " 例)「A_B」,「A_&_ B」
OR検索		A, Bのうち、少なくとも一方を含む論文を検索	"   "(shift + ¥) もしくは <b>OR</b> 例)「A_ _B」,「A_OR_B」
NOT検索		Aを含む論文のうち、Bを含まない論文のみを検索	" - " もしくは <b>NOT</b> 例)「A_-B」,「A_NOT_B」

※ "( )": 論理演算の優先順位変更 ⇒「A\_&\_(B\_|\_C)」

: BとCの少なくともどちらか一方を含み、かつAを含んだ論文を検索

#### ● 便利な記号

前方一致検索	フレーズ検索
「 <b>econom*</b> 」 ⇒「economy」「economic」などを一度に検索	「 <b>"economic_growth"</b> 」 ⇒「…growth of economic」などを除外

次に、CiNii Researchで検索をする際に知っておくと便利なルールについて紹介します。

CiNii Researchには大きな特徴がふたつあります。ひとつめが、部分一致検索をする、ということです。

例えば京都と入力すると、部分的に一致している東京都もヒットしてきます。特徴のふたつめは、平仮名とカタカナは区別しない、ということです。

「たんぱくしつ」を例に挙げていますが、平仮名表記でもカタカナ表記でも、検索結果は同じになります。

これらの特徴をふまえて、必要な情報をきちんと見つけるためには、論理演算を活用してみましょう。

AND検索は、日ごろから使っていると思います。

OR検索はどのような時に使うのでしょうか。「たんぱくしつ」には平仮名・カタカナ表記のほかに、漢字表記も一般的に使われますよね。検索漏れを防ぐには、いろんな表記で検索するほうが良いので、こんな時は、平仮名またはカタカナ表記のタンパク質と、漢字表記の蛋白質をORでつなぐと1度に検索できます。

NOT検索は、「京都」の検索をしたときに、「東京都」はヒットしてほしくない……という時に使えるテクニックです。ただし、ある論文の中に「京都」と「東京都」両方がキーワードとして含まれていた場合は、それも検索結果から取り除かれてしまいます。

便利な記号は、アルファベットや数字など、半角文字に対して使えるものです。5

**平和維持活動**について書かれた論文を  
なるべく網羅的に検索しましょう。

平和維持活動、PKO...



では、早速CiNii Researchを使ってみましょう。

「平和維持活動について書かれた論文をなるべく網羅的に検索」してみましょ  
う。

「平和維持活動」という言葉は、同じ意味の英語、Peacekeeping Operations  
を略したPKOも、  
よく使われます。

ですから、この例の場合、「平和維持活動」だけで検索すると、網羅的な検索  
はできません。



## 検索してみよう！

The image displays three sequential screenshots of the CiNii search interface, illustrating the search process. Each screenshot shows the search bar, filters, and results.

- Top Screenshot:** The search bar contains '平和維持活動'. The '論文' (Thesis) filter is selected, and the results show 338 items. A red arrow points to the '論文' filter.
- Middle Screenshot:** The search bar contains 'PKO'. The '論文' filter is selected, and the results show 904 items. A red circle highlights the '論文' filter.
- Bottom Screenshot:** The search bar contains '平和維持活動 OR PKO'. The '論文' filter is selected, and the results show 1,166 items. A red circle highlights the '論文' filter.

論文タブで検索します。

まず、「平和維持活動」で検索してみましょう。338件ヒットしました。

「PKO」で検索すると、904件ヒットしました。

このように、分けて検索してもいいですが、1度に検索する場合は、OR検索を使いましょう。

すると、「平和維持活動」「PKO」の少なくとも、どちらか一方が含まれている論文として1166件ヒットしました。

これに、略語でない「Peacekeeping Operations」もORでつなげると更に検索漏れは少なくなります。

このように、論理演算を使うと効率的に検索ができます。是非、論理演算を使ってください。

## 4. 論文検索結果一覧画面

The screenshot shows the '論文検索結果一覧画面' (Thesis Search Results List Page) with the following elements and annotations:

- ① 検索結果の並び替え**: A red box highlights the '出版年:新しい順' (Sort by publication year: newest first) dropdown menu in the top right corner.
- ② 文献管理ツールへの書き出し機能等**: A purple box highlights the '書き出し' (Export) button and the list of export options (e.g., 'RefWorksに書き出し', 'EndNoteに書き出し', 'Mendeleyに書き出し', 'Refer/BibTeXで表示', 'RISで表示', 'BibTeXで表示', 'TSVで表示') in the top left area.
- ③ 論文情報**: A green box highlights the title of the selected paper: '福岡県立大学人間社会学部における初年次情報リテラシー教育の効果 (2021年度)'.
- ④ 掲載雑誌情報**: A blue box highlights the journal information: '福岡県立大学人間社会学部紀要 30 (2), 41-51, 2022-03-01'.
- ⑤ 便利なリンク集**: A yellow box highlights the '機関リポジトリ' (Institutional Repository) and '神戸大学図書で検索' (Search in Kobe University Library) buttons at the bottom.

① 検索結果の並び替え

② 文献管理ツールへの書き出し機能等

③ 論文情報  
論文タイトルをクリックすると、詳細表示画面が表示されます。

④ 掲載雑誌情報

⑤ 便利なリンク集

では、次は検索結果の一覧を確認しましょう。  
検索結果は、右上のプルダウンから指定した順番に並び替えることができます。

また論文情報の前にあるボックスにチェックを入れて、左上のプルダウンから書式を選択して、論文情報を出力することも可能です。

論文情報は、論文のタイトルの下に著者名、掲載誌の情報が記載されています。抄録の掲載がある場合は、掲載誌情報の下に抄録の先頭部分が記載されています。そして論文のタイトルをクリックすると、その論文に関する詳細画面が開きます。



## 5. 論文詳細表示画面

### ① 論文タイトル 著者名・著者所属

### ② 便利なリンク

オレンジ色のアイコンは本文提供  
サイトへのリンクになっています。

### ③ 掲載雑誌情報

当該論文が掲載されている雑誌名  
と掲載巻号・掲載頁等の情報です。

### ④ 参考文献・被引用文献リスト

各論文のタイトルをクリックすると、  
それぞれの論文情報ページへ  
リンクします。

### ⑤ 文献管理ツールへの書き出し

EndNoteやMendeleyに論文情報を書き  
出すためのリンクが付いています。

The screenshot shows the article detail page for 'A Trial of Presentations for Retrieval Contents' by Shiohara Kenzoku. The page is annotated with numbers 1 through 5 corresponding to the text on the left:

- ①** Points to the article title, author name (Shiohara Kenzoku), and affiliation (Kobe University).
- ②** Points to the 'この論文をさがす' (Find this article) section, which includes links to NDL ONLINE, CiNii Books, and a link to the full text (ILL申込).
- ③** Points to the '収録刊行物' (In: Journal) section, which lists the journal '日本教育工学雑誌' (Japanese Journal of Educational Technology).
- ④** Points to the '被引用文献 (5)' (Cited references) section, which lists five references with their titles and authors.
- ⑤** Points to the '書き出し' (Export) section, which provides links to export the article information to various formats (BIB, RIS, etc.) and to various reference management tools (EndNote, Mendeley, etc.).

では、詳細画面を確認しましょう。

一番上に論文のタイトル、その下に著者名があります。

論文タイトルと著者名の間、及びその下には便利なリンク集があります。本文提供サイトへのリンクがある場合には、オレンジ色のアイコンが表示されます。

左下の「Find it」と書かれた赤色のアイコンをクリックすると、検索した論文が、電子ジャーナルで閲覧できるか、神戸大学でその雑誌を所蔵しているか、効率的に調べられます。

また、電子ジャーナルで閲覧できず、神戸大学で所蔵していない雑誌論文は、有料サービスになりますが、右側の「ILL申込」と書かれた青色のアイコンをクリックして、本文コピーの取り寄せ申込みができます。

その下の「収録刊行物」の欄に、論文が掲載されている雑誌名、巻号、掲載ページなどの情報が記載されています。

①の論題、著者名と、この「収録刊行物」欄に記載されている情報は、本文を入手するときだけでなく、論文やレポートを書く際に作成する参考文献リストにも必要な情報です。必ずこの2ヵ所の情報をメモしておいてください。

データによっては、掲載雑誌の情報の下に、被引用文献や参考文献の情報があるものもあります。論文タイトルがリンクになっているので、関連する文献をたどることが出来ます。

そして、右サイドの下にある「書き出し」という所からは、書式を選択して論文情報の出力ができます。文献管理ツールなどで管理する際に便利です。

以上が「CiNii Research」の使い方です。実際に使ってみて、わからないことがあれば、お気軽に図書館のカウンターで職員にお尋ねください。